



アーキテクチャ図

マルチリージョンのカスタムドメイン AppSync Proxy API



マルチリージョンのカスタムドメイン AppSync Proxy API: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

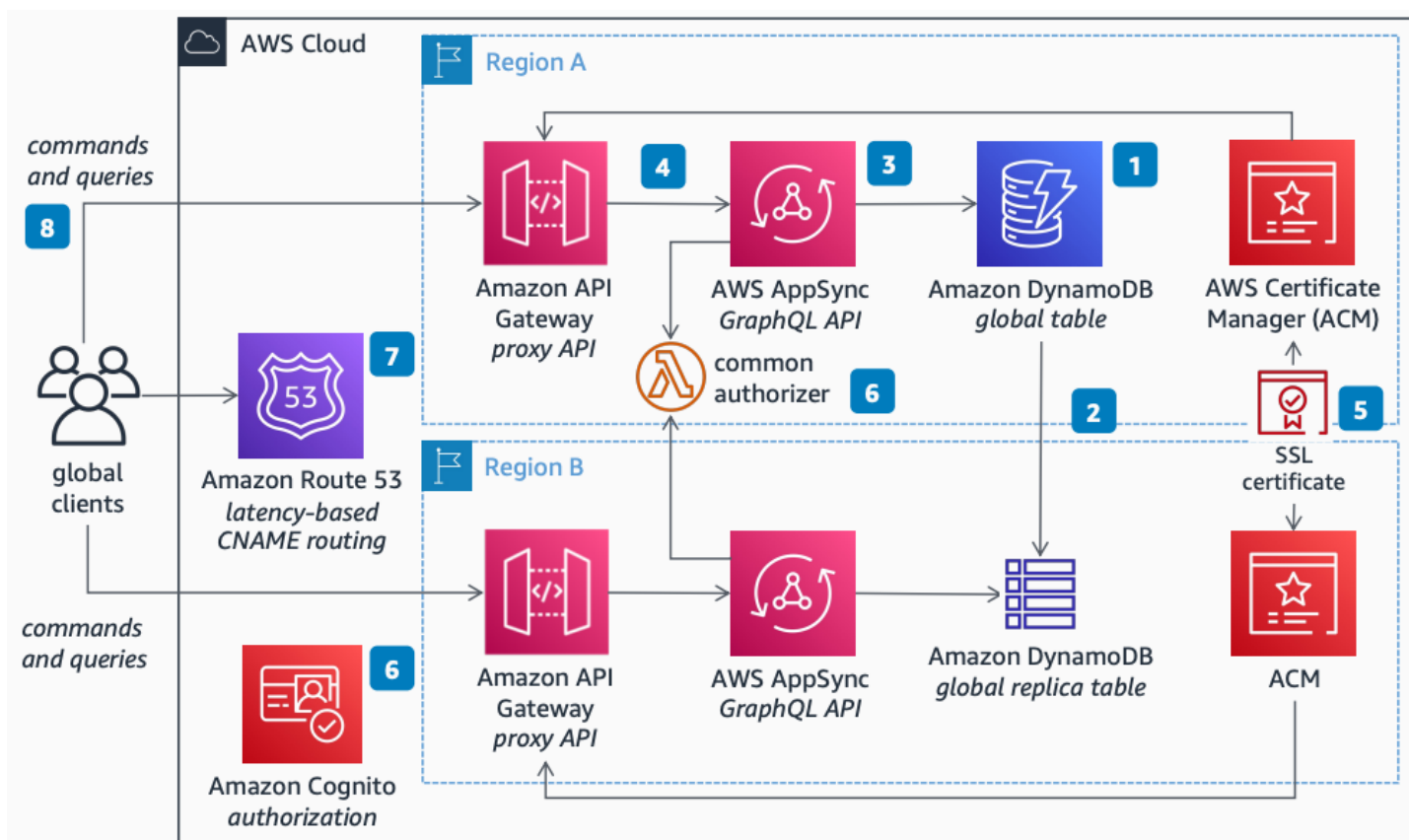
マルチリージョン AppSync Proxy	i
マルチリージョンのカスタムドメイン AppSync Proxy API	1
詳細情報	2
図の履歴	2
.....	iv

マルチリージョンのカスタムドメイン AppSync Proxy API

公開日: 2022 年 5 月 6 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャは、複数の AWS リージョンに GraphQL API エンドポイントを提供することで、エンドユーザーのレイテンシーを短縮し、可用性を高める方法を示しています。[Amazon AppSync](#) は、Amazon [DynamoDB](#) グローバルテーブルでサポートされているアクティブ/アクティブリアルタイムデータ同期で使します。

マルチリージョンのカスタムドメイン AppSync Proxy API



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. ワークロードのデータを保存するには、最初の AWS リージョンに 1 つ以上の DynamoDB データベーステーブルを作成します。DynamoDB グローバルテーブル機能を有効にして、マルチアクティブモードでデータ変更を他のすべてのリージョンに双方向に伝播します。
2. DynamoDB グローバルテーブルを使用してワークロードのデータを保存およびレプリケートし、スコープ内の各リージョンに Amazon AppSync GraphQL API エンドポイントを作成します。

3. 範囲内の各リージョンに [Amazon API Gateway](#) プロキシ API エンドポイントを作成し、すべてのリクエストを同じリージョン AppSync エンドポイントに転送します。
4. ドメインの SSL 証明書を作成または各リージョンの AWS Certificate Manager (ACM) にインポートします。ドメインの SSL 証明書を参照して、HTTPS リクエストをサポートするように各リージョン API Gateway を設定します。
5. [Amazon Cognito](#) またはシームレスなクライアント認可のための共通の [AWS Lambda](#) オートライザーを使用して、共通の認可メカニズムを使用するようにすべてのリージョン AppSync エンドポイントを設定します。
6. レイテンシーが最も低いリージョン API Gateway エンドポイントにドメインのリクエストをクライアントの場所に転送するように [Amazon Route 53](#) を設定します。
7. 世界中のクライアントは、コマンドとクエリのリクエストを最寄りのリージョンに送信します。
8. DynamoDB グローバルテーブルは、設定されたすべてのリージョンにデータ変更を自動的にレプリケートします。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 5 月 6 日

 Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。